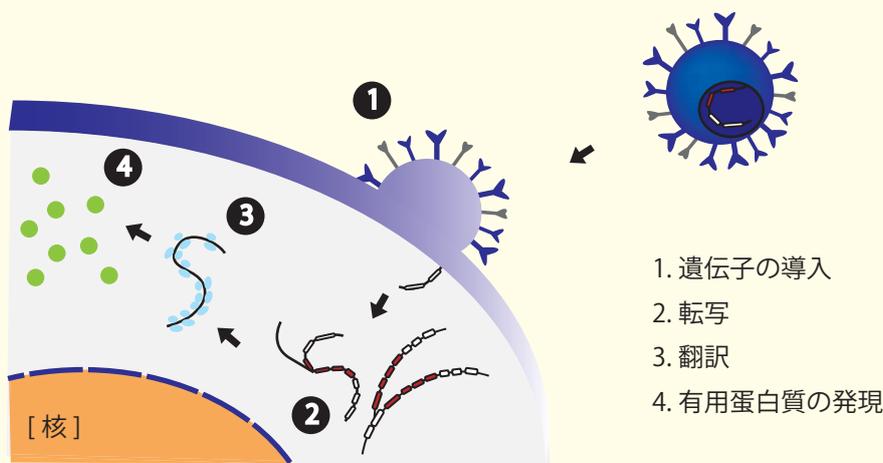
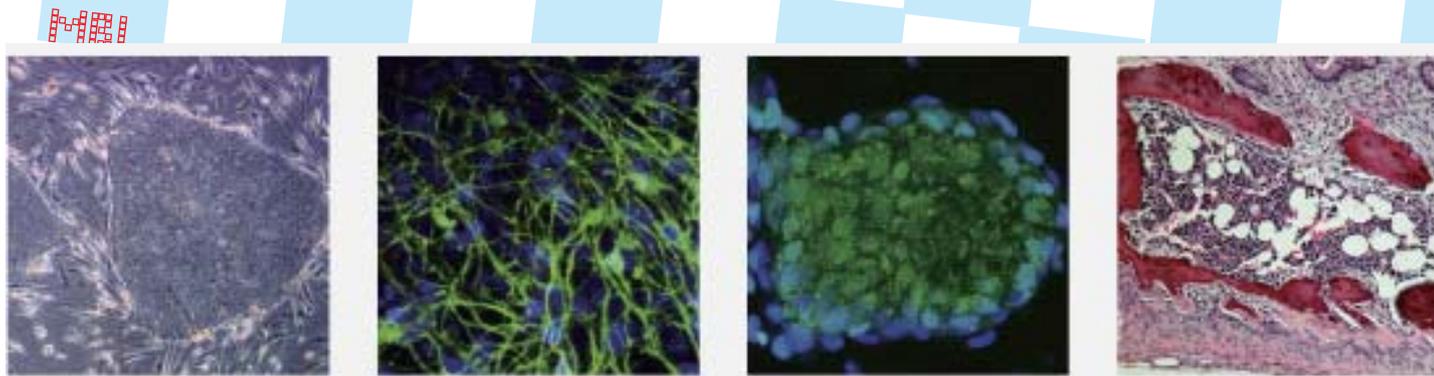


センダイウイルスによる iPS 細胞樹立技術のご紹介



センダイウイルスの特徴：

ベクターが核に入らず、細胞室内に RNA が存在するため、染色体にダメージを与えない。

【内容】

iPS 細胞作製を行う場合、発がんという好ましくない形質転換の危険性を考慮する必要があります。これはレトロウイルスベクターのみならず、アデノウイルスベクターやアデノ随伴ウイルス (AAV) ベクター、プラスミドを用いても同様です。センダイウイルスベクターは広範な細胞種に高い効率で感染し、染色体に傷を付けずに遺伝子情報を発現させるという特徴をもつ RNA ベクターです。

今回は、センダイウイルスベクターを用いた iPS 細胞作製キット

「Cyto Tune™ - iPS」の紹介セミナーです。

センダイウイルスは iPS 細胞樹立後、30 代以上の経代培養で消失する事も知られており、今後を期待されている手法の一つです。

質疑応答の時間も設けております。是非お気軽にお越しください。

日時：2011年 7月 19日 (火)

午後3時00分～午後4時00分

場所：遺伝子実験施設 2F セミナー室

MBL

(株)医学生物学研究所
Email: jutaku@mbl.co.jp